

〈別添〉

## 京都文化力プロジェクト 2016－2020 ウェブサイト作成指針

2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、世界に向けて日本及び京都の文化・芸術等を発信し体感してもらう京都文化力プロジェクト 2016－2020（以下「京都文化力プロジェクト」という。）を国内外に向けて効果的に情報発信するため、以下の項目にしたがってウェブサイトを作成する。

### 1 方針

本業務を行うにあたって、以下の方針に基づいてシステム構築を行うこと。

- (1) 利用者の誰もが目的の情報に快適にたどりつけるようにする。

ウェブサイトを利用する人々の視点に立って情報を分類し、探しやすいサイト構成を目指すとともに、利用者の利便性を重視した使いやすいナビゲーションを配置し、求める情報まで快適にたどりつけるようにする。また、サイト内検索機能を強化し、的確な検索結果が表示されるようにする。
- (2) 多様な利用環境を想定し、高齢者や障害者を含めたすべての利用者が支障なく利用できるようにする。
- (3) イベントカレンダーなど利用者にとって有効な機能とする。
- (4) マルチデバイスに対応する

急速に普及しているスマートフォンやタブレット端末等を含めたあらゆるデバイスでも情報をスムーズに取得できるよう、デバイスに応じてホームページの表示を最適化する仕組みを取り入れる。
- (5) 世界に向けて広く京都文化力プロジェクトを発信するため、ウェブサイト内の一部コンテンツについて英語版を作成すること。
- (6) 地図情報サービスを使用したコンテンツ内への地図の表示など、地図情報との連携サービスが利用できること。
- (7) ページに、JavaScript（ジャバ スクリプト）等による動きや音声読み上げ機能を追加すること。
- (8) セキュリティに配慮した安全なシステムを構築する。なりすましや情報の改ざんなどの外部からの攻撃や、データの漏えいなどのセキュリティリスクにも対応した安全なシステムを構築する。
- (9) 委託者が容易にコンテンツの作成、更新、管理等ができるようにする。本業務で導入する CMS によって、簡単な操作でユーザビリティやアクセシビリティに配慮したコンテンツの作成、更新、管理等の作業ができるようにし、継続的に質の高いホームページの作成ができるようにする。また、委託者及び受託者が簡単な操作でホームページ管理業務を行うことができるようにする。

(10) 拡張性の確保及び柔軟性の高い保守・運用対応を実現する

本業務で構築する CMS は、運用開始後に機能の向上やホームページの構造の変更等を柔軟に行えるとともに、将来のシステム拡張性を考慮するものとする。またデータのバックアップが行えるとともにサービス停止など障害時の復旧作業や必要に応じた再インストール等に対応する。

(OS のアップデート等の定期的な保守を実施するとともに、継続的に CMS の機能向上を図るものとする。)

(11) ドメインは、新規に取得すること。

## 2 業務内容

京都文化カプロジェクト 2016-2020 のウェブサイト을新規で作成すること。ただし、現在の「京都文化フェア（仮称）2016-2020」のウェブサイト（URL：<http://kyotobunkafair.jp/>）から引き継げるデータは、京都文化カプロジェクトの概要や方針、過去のワークショップなどの基本情報のアーカイブのみであり、ウェブサイトの仕組みについては新規に構築すること。

### (1) ホームページの企画・デザイン

ア ユーザビリティ及びアクセシビリティに配慮したホームページ全体の企画デザインを行うこと。

イ 基本デザインとサイト構造設計を行うこと（サイトページ掲載、デザイン）。

ウ デザインの基本方針は以下のとおりとし、仕様書に示す業務目的や本指針の「1. 方針」を勘案し、デザイン案を作成すること。

なお、企画提案書には、トップページ、中間ページ、詳細ページのデザイン案を2案以上作成することとし、スマートフォンやタブレットのトップデザインも作成すること。また最終的なデザインは、協議の上、事務局が決定する。

(ア) ウェブサイトとして、標準化・統一化されたデザインとすること。

(イ) 京都の地域特性などを反映した「京都らしさ」が伝わるデザイン、表現をすること。

(ウ) デザインを作成する上で必要な画像、アイコン等はすべて受託者が用意すること。なお、使用する著作物については、適切に著作権の管理がされていること。

(エ) テンプレートデザインの詳細は協議の上決定し、管理可能なテンプレート数に上限がないこと。

(オ) その他、お知らせページやカテゴリごとのインデックスページなど、受託者の専門的見地から効果的なPR方法がある場合は、企画提案書に記述すること。

(カ) 生成後のページは、以下の各ブラウザでレイアウトが崩れないようにすること。

・パソコン

Internet Explorer 8 以降、Firefox、Safari、Opera、Google Chrome

・スマートフォン

iPhone および Android の標準ブラウザ

・タブレット端末

iPad および Android タブレットの標準ブラウザ

・携帯電話

主要3キャリア（docomo、au、SoftBank）の端末搭載ブラウザ

なお、ブラウザの最新バージョンに対する対応方針を企画提案書に記述すること。

## (2) コンテンツの制作

### ア ページ数及び構成・デザイン・レイアウト

ページ数及び構成については提案に基づき委託者と協議することとするが、原則として、別記「京都文化カプロジェクト Web サイト コンテンツ」に示したページは必ず作成すること。

### イ 追加機能修正

以下の機能を追加する。ただし、業務目的を達成するため、必要に応じ委託者との協議の上、内容を変更することができるものとする。

#### (ア) イベントの検索機能

イベントの検索機能については、提案に基づき委託者と協議すること。

ただし、以下の機能を必ず有すること。

- ・イベント登録時のキーワード、イベント名の読み仮名、イベント内容の部分一致に検索ができること。
- ・開催期間、場所、主催者など、情報の各項目による検索ができること。

#### (イ) データ抽出機能

戦略的な情報発信の効果測定を図るためのアクセス解析を行うこと。（Google アナリティクスを基本とする）

アクセス解析サービスにかかる費用は、受託者が負担すること。

#### (ウ) そのほか追加提案

外国人向けサイト制作、無料翻訳サービス（Google 翻訳サービス）を利用して翻訳する機能など、海外向けに発信できる提案があれば、積極的に提案すること。

### (3) サーバ

ア ウェブサイトのデータは、当該サーバには少なくとも2021年3月末までは稼働し、ホームページを維持できること。

#### イ サーバの仕様

上記のウェブサイトがスムーズに運営・利用できるサーバをレンタルすることを想定しているが、本ウェブサイト制作業務を進めていく中で、受託者から委託者にサーバの仕様を提案し、かつ、仕様に適合するレンタルサーバ業者を提案すること。

ただし、以下の条件を前提とする。

(ア) 可能な限り安価なサーバであること（クラウドもしくは、専用サーバ、共用サーバかも提案すること）。

(イ) 容量は、必要に応じて追加できるようにすること。

(ウ) サーバ証明書の調達が可能なレンタルサーバ業者であること。

(エ) セキュリティ対策が講じてあること。

(オ) サーバは、国内のデータセンターに設置されていること。

(カ) 契約後に委託者から受託者に情報提供するセキュリティポリシーを遵守した仕様の提案及びレンタルサーバの提示をすること。

冗長化等の対応により、ハードウェア障害に即時対応できること、データバックアップが可能なこと。

ウ サーバは受託者が用意すること。

### (4) SEO 対策の実施

本ウェブサイトが検索エンジンを対象として、適切に検索結果の上位に表示されるように、検索エンジンの最適化の工夫を行うこと。また、そのために、検索キーワードの検討をし、設定すること。

### (5) ホームページ作成システム (CMS)

以下の要件に従い、ホームページの維持管理を行うためのCMSを導入する。

ア CMS を利用するユーザーやカテゴリ名及び階層構造の設定、ページ生成用のCMS テンプレート構築などの初期導入作業を行うこと。

イ CMS により生成されるホームページは、原則としてすべて静的な(X)HTML 形式で公開されること。

ウ 簡単な操作でコンテンツ作成、更新やサイト管理が行えること。

エ パソコン向けのコンテンツ作成と同時に、スマートフォン、携帯電話等に表示するページが生成され、一元管理できること。なお、実現方法（レスポンシブウェブデザインや専用テンプレートの利用など）は、企画提案書に記述すること。

- オ アカウント数やページ数の増加によるライセンス料金の変更が発生しないこと。
- カ CMS サーバへは、特別なプログラムのインストールの必要がないこととし、ID・password 認証にてログインを行えるようにすること。なお、ID・password 認証は、委託者が承認した機関・団体のみに発行すること。
- キ コンテンツ入力用のテンプレートを作成すること。ただし、テンプレートの追加、修正、削除が可能なこと。
- ク 知識がなくてもページの作成や文字の大小、文字色の変更、表の作成、画像や動画の貼り付け、リンクの作成等が簡単に行えること。
- ケ 作成したコンテンツの掲載開始日時・公開終了日時の指定ができること。また、表示、非表示の設定や、新着情報や終了イベントなど表示がわかりやすいこと。
- コ コンテンツ作成→承認→公開のワークフローとし、承認は、委託者及び受託者が行うこと。
- サ 問い合わせ、応募フォームの設置が可能であり、ホームページで提供するフォーム等を利用した個人情報の送信については、SSL 対応により暗号化された通信が行われること。また、送信者へは受付完了通知が自動送信されること。
- シ ブログ形式ページを設置可能（Twitter、Facebook 等との連係）とすること。

#### (6) セキュリティ対策

- ア 運用するサーバについては、ウイルス駆除ソフトを常に最新バージョンに維持して感染を防止すること。
- イ ソフトウェアは、セキュリティホール等に対する最新の対策を行った上で導入すること。
- ウ 構築に当たっては十分なセキュリティ対策を講じること。また、情報漏えい対策が十分に講じられていること。
- エ 異常または障害が発見された際には、直ちに事務局へ連絡し、復旧手段について万全を期す体制および運用が可能であること。また、障害発生時には、原因を調査の上、報告書を提出すること。
- オ 外部からのセキュリティリスクへの対策を企画提案書に記述すること。

#### (7) マニュアルの作成及び操作方法の説明について

CMS の操作方法について「運用マニュアル」及び「操作マニュアル」（一般入力向けと承認者向け）を作成すること。なお、特別な知識を持たない委託者が、内容を見ただけで操作ができるよう、わかりやすい表現で記述されたマニュアルを作成し、提供すること。

また、委託者に対してサイト運営と操作の説明を行うこと。

(8) ウェブバナー作成業務

当ウェブサイトの紹介用バナーを数種類の大きさに分けて制作し、他のウェブサイトからのバナーリンクに対応できるようにすること。